2019 年度応用数理 D 第3回レポート解答例

中安淳

2019年10月18日

問題 1

連立一次方程式

$$4x_1 + 5x_2 + x_3 = 7$$
$$-6x_1 + 4x_2 + 6x_3 = -26$$
$$4x_1 + x_2 + 3x_3 = 17$$

をガウス消去法により解け。

問題1の解答

拡大係数行列を考え、行基本変形を行う。

$$\begin{pmatrix} 4 & 5 & 1 & 7 \\ -6 & 4 & 6 & -26 \\ 4 & 1 & 3 & 17 \end{pmatrix}$$

$$\rightarrow \begin{pmatrix} -6 & 4 & 6 & -26 \\ 4 & 5 & 1 & 7 \\ 4 & 1 & 3 & 17 \end{pmatrix} \quad (第1行と第2行を入れ替え)$$

$$\rightarrow \begin{pmatrix} -6 & 4 & 6 & -26 \\ 0 & 23/3 & 5 & -31/3 \\ 4 & 1 & 3 & 17 \end{pmatrix} \quad (第2行に第1行の4/6倍を足す)$$

$$\rightarrow \begin{pmatrix} -6 & 4 & 6 & -26 \\ 0 & 23/3 & 5 & -31/3 \\ 0 & 11/3 & 7 & -1/3 \end{pmatrix} \quad (第3行に第1行の4/6倍を足す)$$

$$\rightarrow \begin{pmatrix} -6 & 4 & 6 & -26 \\ 0 & 23/3 & 5 & -31/3 \\ 0 & 0 & 106/23 & 106/23 \end{pmatrix} \quad (第3行から第2行の11/23倍を引く)$$

よって第3行より、

$$\frac{106}{23}x_3 = \frac{106}{23}, \quad \therefore x_3 = 1.$$

第2行より、

$$\frac{23}{3}x_2 + 5x_3 = -\frac{31}{3}, \quad \therefore x_2 = -2.$$

第1行より、

$$-6x_1 + 4x_2 + 6x_3 = -26, \quad \therefore x_1 = 4.$$

以上より解は

$$(x_1, x_2, x_3) = (4, -2, 1)$$

である。

問題 2

行列

$$\begin{pmatrix}
5 & 4 & 1 \\
10 & 9 & 4 \\
10 & 13 & 15
\end{pmatrix}$$

を ${
m LU}$ 分解せよ。ただし、下三角行列 ${\it L}$ の対角成分が ${\it 1}$ となるように分解すること。

問題2の解答

LU 分解を

$$\begin{pmatrix} 5 & 4 & 1 \\ 10 & 9 & 4 \\ 10 & 13 & 15 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 \\ l_{21} & 1 & 0 \\ l_{31} & l_{32} & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} u_{11} & u_{12} & u_{13} \\ 0 & u_{22} & u_{23} \\ 0 & 0 & u_{33} \end{pmatrix}$$

とおく。

順番に計算すると、 $u_{11}=5,\;u_{12}=4,\;u_{13}=1$ で、 $l_{21}u_{11}=10$ より $l_{21}=2$ 、 $l_{21}u_{12}+u_{22}=9$ より $u_{22}=1$ 、 $l_{21}u_{13}+u_{23}=4$ より $l_{23}=2$ 、 $l_{31}u_{11}=10$ より $l_{31}=2$ 、 $l_{31}u_{12}+l_{32}u_{22}=13$ より $l_{32}=5$ 、 $l_{31}u_{13}+l_{32}u_{23}+u_{33}=15$ より $u_{33}=3$ がわかる。 よって、

$$\begin{pmatrix} 5 & 4 & 1 \\ 10 & 9 & 4 \\ 10 & 13 & 15 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 \\ 2 & 1 & 0 \\ 2 & 5 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 5 & 4 & 1 \\ 0 & 1 & 2 \\ 0 & 0 & 3 \end{pmatrix}$$

である。